



かすりすと

十八模様は久留米かすりのシンボルとしてあらゆるシーンに活用していきます。



愛らしか もんぺ

(丈 97, W 70~90) L サイズ

足首に 3 段ゴムでギャザーたっぷり可愛いもんぺ!腰回り、ウエスト回りがゆったりとしている。ウエストは幅広ゴムでフリーサイズ。紐を通して好みのサイズで安定する事が出来ます。

お問い合わせ・お申し込み先

地場産くるめ

TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020

あい
ちやく
藍着してみませんか?



ワイドパンツ

(丈 95, W 65~80) M サイズ

腰回りから裾までストレートで幅広パンツ。裾を折り上げ 8 分丈にすればオールシーズン OK。ブーツやサンダルなど色々な場面で楽しめます。ウエストは 2 段ゴム (ベルト通し・腰ひも付) でフリーサイズ

※かすりすとオリジナル「パンツ・もんぺ」の詳細は中面 3p にて
※尚、写真の柄はサンプルです。

CONTENTS

1p ・かすりすとオリジナルもんぺ限定販売

2p ・久留米かすり秘話vol12

『産学協同事業で地場産業「かすり」「八女和紙」の可能性を探る!』

3p ・かすりすとバスハイク募集
・第17回藍・愛・で逢いフェスティバル

4p ・第60回 日本伝統工芸展 福岡展
・絣織元登場 森山絣工房
・地場産くるめ SHOP INFORMATION

シリーズ

久留米がすり秘話

VOL.12

『産学連携事業で地場産業「久留米絣」「八女和紙」の可能性を探る!』

久留米大学比較文化研究所文化財保存科学研究部会(部会長・狩野啓子文学部教授)の発案で、経済産業省「クールジャパン」の芽の発掘・連携促進事業(プロデューサー人材等派遣事業)に「日本の伝統技術で文化財保存修復用品を創る」というプロジェクトが採択されました。その関連事業として「筑後の藍と和紙」(全3回)というテーマで久留米大学文学部主催の公開講演会が設定されました。講演会内容は

・第1回(12/9)「藍をめぐって」ジェニー・バルフォア・ポール氏「世界的な視野で藍を見る」エジプトのミイラからブルー・ジーンズまで、フィリップ・ジョン氏「純正天然藍染めとは?」SPINDIGOの統括者として(久留米大学)

・第2回(1/13)「筑後の和紙を世界に発信する」タティアナ・ギンズバーグ氏「和紙を西洋に紹介する」『和紙総鑑』の英訳に携わって、富樫 朗氏「八女和紙の特長」各地の和紙を比較して(久留米大学)

・第3回(2/1)「筑後の伝統工芸を世界に広めるために」ヨルク・ゲスナー氏「和紙に魅せられて」、中野重治氏「伝統工芸を世界に発信する」、山本勉氏「ロンドンで日欧交流をコーディネートする」(石橋美術館1階ギャラリー)です。

世界が注目する「藍」と「和紙」

研究部会の当初の目的は文化財保護のための「防虫」がキーワードでした。「和紙」の優れた保存性、防虫防カビ素材としての「藍」が注目され、この筑後地域で発展した「八女和紙」と「藍染め」が注目されました。久大エンタープライズを代表企業とするクールジャパンの当事業には、狩野啓子文学部教授が代表プロデューサーとなり、久留米絣作家の松枝哲哉さん、八女和紙作家の溝田俊和さんもプロデューサーとして参加されています。



ジェニー・バルフォア・ポール氏

第1回目の「世界的な視野で藍を見



る」では、世界各地に伝わる藍の製法を調査したジェニー・バルフォア・ポール氏が、日本をはじめ、アメリカ、ヨーロッパ、アフリカ、南米、中国、インドと、世界各地の藍染めの現場を見聞きた映像とともに紹介されました。

映像を見て印象深かったのは、世界各地で伝えられてきた藍染めの多様な方法とその作品の数々。

蓼藍・琉球藍(日本)、ウオード(ヨーロッパ)、インド藍(インド)、ナンバンコマツナギ(中南米)など藍の仲間(含藍植物)による藍染めが多様な染織文化を残し現代に伝えられてきた事を物語っているようでした。特に徳島の「染(すくも)」の製造過程は世界の藍づくりの中でも秀逸で、自然の営みそのものである「発酵」の神秘を活かしており、その技術と複雑な工程は世界に誇れる文化だとの印象を受けました。

世界に誇る

「久留米絣」と「八女和紙」

今回の三回連続の公開講座は、久留米大学文学部主催で開催され、今後も色々な公開講座や海外との文化交流が図られる予定です。2015年春には、久留米で藍と和紙の国際シンポジウムを開催しようという気運が起っています。世界から注目を浴びる「藍染めの久留米絣」そして「強靱な耐久性と保存性を併せ持つ八女和紙」、それぞれの魅力が今、世界から注目を浴びようとしています。

取材協力資料提供 / 久留米大学文学部教授 狩野啓子氏、久留米絣作家 松枝哲哉氏



1月13日に行われた第2回講演会の会場にて



右から 久留米大学 狩野 啓子教授、タティアナ・ギンズバーグ氏、富樫 朗氏

実施日
平成26年3月2日(日)

参加者
募集中

対象 かすりすと会員
申込締切 2月10日(月)必着
参加費 5,000円(当日集金) 昼食とお土産付き
定員 30名(はがき1枚につき2名様まで応募可)
応募方法 ハガキ
※郵便番号・住所・氏名・年齢・電話番号を明記の上、
地場産くるめ宛にハガキを送付してください。
通知方法 厳正な抽選の上、2月17日(月)までに
当選者のみ、はがきで連絡します。

広川の久留米かすり織元「森山
工房」にて藍染と織り見学から始ま
り、花むらさきでランチを堪能。昼食
後は、白壁通りの町屋・民家を散策し
ながらの、雛の里「八女ぼんぼりま
つり」巡り。最後は喜多屋の酒蔵開き見
学など、一日たっぷりとお楽しみするお土産
付きの日帰りの
旅、《かすりす
と》会員バスハ
イクに参加して
みませんか？



雛の里・八女ぼんぼり巡り

《かすりすと》会員バスハイク参加者募集 かすり織元と

宛先・お問合せ先

地場産くるめ

〒839-0809 福岡県久留米市東合川5-8-5
TEL.0942-44-3700 FAX.0942-43-1020



《3月2日(日)／バスハイク 行程(予定)》

8:50 地場産くるめ 集合
↓
9:15 西鉄久留米駅前(日本生命ビル前)
↓
広川の森山縫工房
↓
花むらさき(昼食)
↓
八女ぼんぼりまつり巡り
(ボランティアガイド案内)
↓
喜多屋
↓
16:40 地場産くるめ
↓
17:00 西鉄久留米駅前(日本生命ビル前) 解散

ご予約・お問合せ先

■予約締切日:平成26年3月31日(月)迄
■お渡し日:平成26年5月末(予定)
■申込み:FAX・Eメールまたはハガキにて
ご希望の★デザインとサイズ①ワイドパンツ
(M・L)／②愛らしかもんぺ(M・L)★柄①～⑥
から選び、住所・氏名・電話番号を記載の上、
お申込みください
FAX 0942-43-1020
Eメール info@jibasankurume.jp
ハガキ 地場産くるめ 宛
〒839-0809 福岡県久留米市東合川5-8-5
■お支払い方法:代引き
※送料と別途代引き手数料315円が必要です。

通常価格
23,100円

会員特別価格
18,900円



①黒地にグレーブロック柄



②赤地にアジア系柄



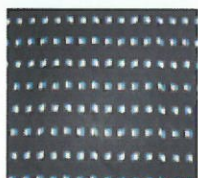
③グレー地に三角波柄



④黒地に白黒カンザシ柄



⑤グレーと赤のボーダー柄



⑥黒地に白青のあられ柄

かすりすとオリジナル 「パンツ・もんぺ」限定販売

今回かすりすとオリジナルデザインの「ワイドパン
ツ」と「愛らしかもんぺ」を販売することになりまし
た。一般販売に先駆けて、先行予約受付致します。
(デザインサンプルは表紙に記載)



■藍・愛・で逢い広場(出店28企業)
出店ブースでは久留米絨や和・洋装製
品・工芸品小物・手工芸用のハギレ等の
品々を割安で取り揃えて、満足いくお買い
求めが出来ます。

■久留米絨ファッションショー

公演 両日2回 11:30～/15:00～

■久留米絨活用製品企業コーナー

異業種企業コーナーでは、久留米絨を活用
した絨工芸品トレ、時計などを販売します。

■2014 久留米絨新作発表会

一次審査 15日(土)／二次審査 16日(日)
審査結果発表 16日(日)
出店作品 手織絨部門・機械織部門・絨二次製品部門
約130点

※審査、アンケートを頂いた方に抽選で20名様に絨粗品進呈
他、イベント多数。

入場 無料

日時 2014年3月15日(土)・16日(日)

10:00～17:00

場所 地場産くるめ(久留米市東合川5-8-5)

無料の送迎バス運行いたします。

JR久留米駅前高速バス乗り場(福岡小倉方面)～

西鉄久留米駅(0番乗り場)～フェスティバル会場

※両日とも9:30始発。午前中は30分間隔で運行

主催/藍・愛・で逢いフェスティバル実行委員会

事務局/久留米絨協同組合 TEL.0942-44-3701

第17回 藍・愛・で逢いフェスティバル

第60回日本伝統工芸展 福岡展

福岡で開催される日本工芸展は、昭和29年の開催から今年で 60 回目を記念して、より多くの人々に日本の伝統工芸の素晴らしさを知ってもらうために、永く研鑽に努めた工芸作家と博物館関係者との公開対談を行います。

日本伝統工芸展には、今年度も、今号で紹介している森山絊工房の森山哲浩さん、森山虎雄さんをはじめ、松枝哲哉さん、松枝小夜子さん、山村健さんの作品が展示されます。

久留米絊を県内外の人により深く知ってもらう良い機会です。ぜひ久留米絊の深い味わいに触れに足を運んでみませんか？

《日本伝統工芸展 60 回記念イベント》

日時 2月11日(祝・火) 14:00~15:30

会場 レソラNTT 夢天神ホール

司会 阿川 佐和子氏

出演者 三輪 嘉六氏、森口 邦彦氏、中島 宏氏

定員 250 名(定員になり次第締切)

申込 住所・氏名・電話番号を記したハガキを下記まで郵送。

(ハガキ 1 枚につき 2 名まで有効)

申込先 〒812-8575 (住所不要)

福岡県教育庁文化財保護課 伝統工芸展記念イベント担当 行

TEL.092-643-3875 FAX.092-643-3878



●第 60 回 日本伝統工芸展 福岡展

とき／2014 年 2 月 1 日(祝・火)～2 月 16 日(日)

ところ／福岡三越 9 階三越ギャラリー

絊織元登場 創くるる



の生み出す色
は深い。



左より 森山哲浩さん
森山虎雄さん
森山富子さん

次代へとつなぐ久留米絊

森山絊工房
八女郡広川町新代109
TEL.0943-32-0023

創業は遙か江戸時代終期。唯一、男性用着物に多い繊細な小柄を得意とし、化学染料を使わない天然発酵本藍染、手織りで製作している「森山絊工房」。昭和三十三年に文化庁から重要無形文化財久留米絊技術保持者の認定を受け、二代目森山虎雄さんは、現在も保持者会会員として名を馳せている。虎雄さんの長男・哲浩さんは、重要無形文化財久留米絊技術保持者会理事を務める。

「絊の魅力は化学染料では出せない藍の濃紺の美しさです。藍を発酵させるためには季節の対応が一番苦労します」と話す。アルカリの状態を発酵するのが藍の特徴。木灰・貝灰から取ったアルカリと日本酒によって発酵させる天然灰汁発酵建ての藍。冬は櫛の蠟カスを燃やして藍瓶を温め、夏は発酵が進むのでアルカリを少し高める。毎日一回は瓶の中をかき混ぜる。そうやって季節に対応して丁寧に発酵させた森山家伝承の藍。その生み出す色は深い。

「森山さんの絊の色は何か違いますね。きれいですね」と言われるのが嬉しい。絊は柄が細かいほどくくりが多く、地色を深く(濃く)染めて柄を出す。「何回染めるかという藍の染をやるタイミングが難しいですね」二年前には国内最大級の公募展、日本伝統工芸展にて『おぼろアラレ』の柄で文部科学大臣賞を受賞。これまでこの賞を受賞したのは、業界では父・虎雄さんと二人だけだ。「ふと、ブルーを入れたら」とおやじが言ったのをヒントにブルーを入れてみると柄に立体感が出ました。この受賞をきっかけに自信ができました。森山家の伝承が、また二つ花を咲かせた。

「昭和の終わり、おふくろが反物にハサミを入れたんです。まだ誰もそんなことをしておらず反物で販売している時代でした。おやじは『何てことするんだ』と言っていました。が、あれがよかったのです」反物で売れることが少ない現代、小物や洋服など、時代とともに絊もいろんな形を見せる。哲浩さんが発案した絊糸で編んだセーターも好評だ。間もなく哲浩さんの長男が家業に入る。

「後世に技術をつないでいきたいと思っています。つくり手の世代が変わると、また違ったものができて期待できると思います。伝承はその時代に合わせていかないと残っていきません。しかし、残さなければいけないものもあります。小柄の着物、森山柄『蚊絊』は後世に伝承していきたいと思っています」シブルなどの繊細な小柄。上品で深みのある濃紺。この二つの織り成す神秘をつくり出しながら、哲浩さんは藍の次代を見つけている。

地場産くるめ SHOP INFORMATION



ふるさと「頑張り屋」です！
地場産くるめ
公益財団法人久留米地域地場産業振興センター



春のよそおいに、久留米絊のグッズでお出掛けしませんか？

セーター (M)	9,240 円
ベスト (M～L)	23,100 円
カッターシャツ	21,000 円
ショルダーバック	17,850 円
ハンドサンボ	3,990 円

TEL.(0942)44-3700 FAX.(0942)43-1020
HP. <http://jibasankurume.jp> 営.10:00～17:00
展示即売場コーナーは地場産くるめ2Fにございます。

毎月11日は「いい日地場産の日」開催！
毎月11日は全品11%OFF (一部商品除く)